

ベンリーHL150 関東

施工要領書

二瀬窯業株式会社

練り混ぜ

- ① 容量20リットル入りのペール缶に水(3.8リットル)を入れ
- ② ハンドミキサーで混ぜながら ベンリーHL (25kg)を徐々に加え
- ③ 材料投入後、ハンドミキサーで2~3分間練り混ぜてください。
※ ハンドミキサーは高速練りタイプを使ってください。

練り上がり

ベンリーHL150 (25kg)1袋の練り上がり量 ——13リットル/袋

下地処理

- ①ベンリーHL150の接地面には水打ちを行い湿潤状態とし、余分な水分は除去してください。
- ②下地コンクリート等の乾燥が激しい場合や、打設前の水湿しが難しい場合は、吸水調整材(ユニレックス3の5倍希釈)を塗布し、プライマーが乾燥した状態(塗布後1~2時間が目安です)で打設下さい。
- ③打設面(流し込み面)にはつりガラなどの異物が無いことを確認ください。
- ④レベリング性が良いので、傾斜面の施工はできません。
※接着不良の原因になりますので、下地面の清掃・脆弱部分の除去を確実に行って下さい。

ハンドリング時間と施工面積

- ① 速硬性なので、練ってから10分以内に打設を終えてください。
※試験練りを行い、ハンドリング時間を確認してください。
- ② 表面の水が引く状態になると、硬化が始まります。
- ③ 硬化開始時間は、作業時の周囲の気温・風等の環境条件や、下地の状況、打設厚さなどにより変わります。

打設(流し込み)・仕上げ

- ① ベンリーHL150の打設面は平滑になります。
- ② 粗面仕上げの場合は、硬化前にタイミングを見て、ほうき引き等を行って下さい。

打設後の養生

- ① ベンリーHL150 打設後、養生中は急激な乾燥を避けてください。
(注意)ベンリーHL の硬化反応時は、硬化後1時間程度の間で発熱します。
直射日光や風雨を避けるために養生を行って下さい。
また、乾燥が著しい場合は散水してください。